

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98 TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

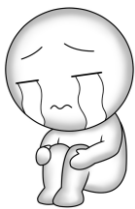
ホームページ

https://kosaiji.net/

法座のご案内

新型コロナウイルス
感染症の拡大防止のため
今年度の春季彼岸会は

中止しました



今号の法語

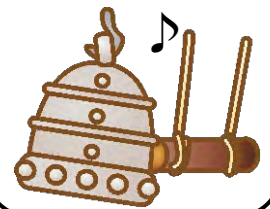
私たちは

涙の中にいる



今号の内容

- ・ 広濟寺探検隊！〜梵鐘〜
- ・ 聞いてみよう！お寺の朝の鐘♪
- ・ 千夏のきときと日記
- ・ 住職コラム



先月二十四日から始まったロシアによるウクライナ侵攻も早一ヶ月が経ちました。互いの主張がぶつかり合い、先の見えない、どちらも譲れない、本当の戦争が続いています。毎日双方でどれだけの命が失われているのでしょうか。どれだけの家族が涙を流しているのでしょうか。悲しい現実がそこにはあります。

たしかに戦争をしなければ守れないものがあるのも現実です。ただそのために、かけがえのない命が日々失われていく……。

命を守るために命を奪う。しかし相手の命にも家族があり、命が奪われれば涙する。

戦争は必ずどちらかが涙します。いやどちらにも涙させていくのが戦争だったのではないのでしょうか。

ただ命を守りたかっただけなのに……。

悲しき私たちの姿。どうすればいいか、頭を抱えるしかできない私たちの姿。そんな世界のそのままと、涙を流しながらじっと見守り続けておられるお方がおられます。戦争のない世界にするために私たちにできることは何なのでしょうか……。

広濟寺探検隊！

梵鐘に込められた願い

皆さんの地域ではお寺の鐘は聞こえてきますか？広濟寺では毎朝六時に梵鐘を撞かせていただいています。この梵鐘は、昭和二十二年の三月二十一日、ちょうど春のお彼岸に製造されたものなのです（写真左）。



それ以前の梵鐘は、先の戦争の最中、「金属類回収令」によって供出されています。当時必要とされた武器生産のため、

お寺の梵鐘のみならず蝋燭立てや仏飯器など仏具に至るまで供出したそうです。

梵鐘がある鐘楼というのは、実は梵鐘の重みによって安定しているのだそう。梵鐘が無いととても不安定なんだとか。

そこで鐘の形をしたコンクリートの塊や大きな石を代わりに吊り下げていたのだそうです（仏具は陶器やセメント製の代用品になりました）。

戦後になり、広濟寺を含め多くのお寺が再び新たに梵鐘をお迎えしたのですが、現在でもその大きな石を



梵鐘の正面
「正覚大音 響流十方」

吊り下げたままのお寺がお隣の長野県にあります。「戦争の悲惨さ、愚かさの証」として、今も非戦・平和の願いを込め、「石の鐘」として吊り下げ続けておられるのです（写真左）。

広濟寺の新たな鐘には、正面に「正覚大音響流十方」との銘があります（写真右）。おけ止めて、これからも鐘の音を響かせたいと思います。

言葉で、「さどりの声は高らかに、すべての世界に響きわたる。」という意味になります。悲惨な戦争を経験した後、新たに迎え入れた梵鐘に先人たちはどのような思いを込めたのでしょうか。この言葉を刻んだのでしょうか。私は非戦・平和の願いと受

聞いてみよう！

広濟寺の朝の鐘

毎朝六時の梵鐘の動画です。

下のQRコードからどうぞ！

今の時期は小鳥のさえずりから一日が始まります。隣町からは「牧場の朝」のチャイムも♪



千夏ちなつのきとちと日記

SDGs、ジェンダー、オンライン、ソーシャルディスタンス、eスポーツ……
私たちは日常生活でも多く使われていますし、新聞でもよく見かけます。

皆さんこの言葉をご存知でしょうか？だんだん新しい言葉が増えてきて、私は正直ついていけていません。今や当たり前に使われているこの言葉



その中の一つの『SDGs』。Nとは「持続可能な開発目標」で、つまり「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみならず二〇三〇年までに解決していくこと」という計画・目標のこと

最近やつと少しずつ理解できてきた一人です。ここで分からない方に『SDGs』を簡単に説明させていただきます。

『SDGs(エスデージーズ)』



十七のゴールがあつて、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

この「誰一人取り残さない」という言葉を見たときに、この考え方は仏教

に似ているように感じました。誰か特定の人だけではなく、苦しみ悲しんでいる人を「誰一人取り残さない」。これは阿弥陀仏のはたらきを示す『攝取不捨』、つまり全てのををおさめとつて見捨てないという教えに通じると思ったからです。

急に身近に感じられたこの『SDGs』。私も何か目標を持つて、できるところから少しでも貢献していけたらと思います。私は食品ロス削減を目標とし、買すぎない、作りすぎないことをまずは心がけます。



住職コラム

あの冬の猛烈な寒さと雪もさすがに三月に入ると少し和らぎ、お寺の各々樹木の雪吊り、雪囲いも終わりました。

先日はご門徒さんお二人が朝から丸一日、本堂の前の「合掌(雪割)」の解体、鐘樓の雪囲いの取り外し、本堂の西側(裏側)及び庫裏の西側の雪囲いの取り外しをしていただき、装い改めて暖かい春のお彼岸を迎えさせてください



ところどころです。本堂の「合掌(雪割)」の木材は、屋根から滑り落ちてくる雪の圧力に耐える

太く重い角材で組み立てられており、その解体と運搬はやはり重労働となります。

ご門徒さん方のご尽力により皆のお寺が維持されていること、大変有難く、深く感謝しております。

コロナ感染のニュースがなかなか途切れませんが、皆様にはお互い励まし乗り越えていきましよう。

合掌

お知らせ

令和四年

春季彼岸会

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止

蓮門会

四月三日(日)

午後三時より

場所 麻生谷 西光寺

広濟寺仏教婦人の集い

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため延期

広濟寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

※四月まで休会します



編集後記

コロナがなかなか収まりませんね。今年の春季彼岸会については門徒総代さん方と話しかけた結果中止とし、寺族だけでお勤めさせていただきました。

総代さん方からは、もうそろそろコロナ禍の中にあっても行事を進めていくことを考える時期に来ているのでは、という声もいただいています。六月に予定している永代経については、なんとか皆さんと共に勤めたいと思います。

コロナ禍になってもう二年。行動が制限されている間にいつの間にか年齢も重ねていきます。ついつい後ろ向きになつてしまいがちですが、今だからこそできることを考え、明るく前向きに過ごしていきたいものです！